

ホスピス外来担当のお知らせ

ホスピス外来は午後診察のみです。新患予約は1日2人、再診予約は1日3人までとなっています。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午後 13:30~16:30	細井			細井		

お問い合わせは 0748-32-5211 (病院代表) 地域連携室まで

11/8(土) 偲ぶ会より

グリーンホテルにて偲ぶ会が行われました。今回もたくさんのご遺族様が参加して下さい、和やかな雰囲気の中、会がスタートしました。それぞれに故人の大切な思い出を偲ばれ、ご遺族同士の語らいの中で辛さや淋しさを共感されていました。涙を流されつつも会の終わりには皆様笑顔を見せて下さいました。また新たに前を向いて大切な“命のバトン”をつないでいって下さることをスタッフ一同願っています。尚ホスピスでは毎月第3金曜日15時~16時半にスタッフと思い出や近況を語り合うことで共に悲しみを分かち合い生きていくための励みや支えになればという思いでライラックの日という遺族会も開催しています。お気持ちが向いたときは是非いらして下さい。スタッフ一同心よりお待ちしております。

看護師 大橋美枝子



退職のごあいさつ

ホスピスにて2年3ヶ月お世話になりました。「生命(せいめい)」と共に「いのち」について考える期間だったと思います。生命ばかりでなく「心理的、社会的および文化的いのち」を今後も考えていきたいと思ひます。

ホスピス 川上 明

川上先生おつかれ様でした

第38回 死の臨床研究会年次大会

大会テーマ「輝いて今を生きるために - 尊い生と死から学ぶ -」
2014年11月1日~2日



「その人らしさを変えることを見つめ直す」
ホスピスケアが困難で悩んだ経験を通して
「その人らしさを変えることを見つめ直す」
ホスピスケアが困難で悩んだ経験を通して

ポスター発表では、その人らしさを支えるということを考え、自分たちのケアを見つめ直すことが出来ました。患者さん、ご家族と共に私たちは、大切な時間を過ごさせていただいていることに感謝し、これから出会う方に学んだことを伝え、いのちをつなげていきたいと思ひました。

看護師 西浦 美紀

賛助会のご案内

賛助会のお知らせ

ホスピスのよりよい運営のために、皆様からのご支援をお願いしております。ご支援下さった方々には、ホスピス通

信・研修参加案内・催事・活動参加案内などを送らせていただきます。ご案内する催しなどにご自由にご参加いただけます。



賛助会への入会

振込み用紙にて会費の振込みをもって、入会とさせていただきます。

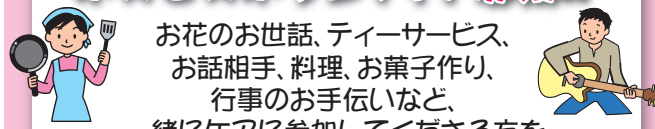
賛助会費(年会費)

個人 一〇 1,000円
法人(団体) 一〇 10,000円
いずれも何口でも結構です。

お問い合わせ先

〒523-8523 近江八幡市北之庄町492
tel.0748-32-5211(代表)
担当:澤谷まで。

ホスピスボランティア募集!!



お花のお世話、ティーサービス、お話し相手、料理、お菓子作り、行事のお手伝いなど、一緒にケアに参加して下さる方を探しています。

学生ボランティアも歓迎!!

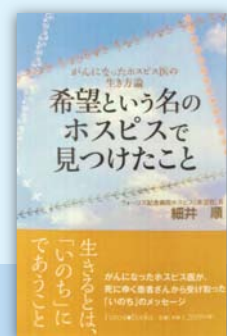
連絡先 0748-32-5211(代表) 担当:増田まで

ヴォーリス記念病院ホスピス[希望館]長 細井 順先生の著書が出版されました。



先生の直筆サイン入り

窓口販売のみ特典!!



窓口販売価格 1,200円(税込)

ご購入を希望の方は、医事課受付にてお問い合わせ下さい。

編集後記

ふきのとうの芽もようやくふくらんで、春がすぐそこに来ているのが感じられます。表紙の桜はそんな近づく季節に思いをはせ、みなさんの心に一足早い“春”を届けられたらと思ひ作成しました。

2015年2月1日発行

希望館だより

第18号

発行元 ヴォーリス記念病院 〒523-8523 近江八幡市北之庄町492

マジックショー
6月

七夕のつどい
7月

夏祭り
8月

お月見会
9月

Voices
ホスピス希望館



10月
秋のオカリナ
音楽会

11月
よし笛演奏会



12月
クリスマス会

1月
小正月

ホスピス新メンバー紹介



医師
奥野 貴史

これまで消化器・血液内科
医として主に悪性腫瘍・がん
の診療に携わるなか、緩和ケ
アの大切さを学び、以後自分
なりに実践してきました。今
回ご縁あってホスピス希望館
に参りました。一期一会の心
を持ち、病気を背負った患者
さん、ご家族のみなさんの心
に寄り添えるよう研鑽して参
ります。宜しく願いいたし
ます。



看護師
大橋 彰子

10月より働かせて頂い
ています。日々、スタッ
フと一緒に患者様にとっ
て何が一番いいのかを考
えながらケアを行いたい
と思っています。また、
その日、その時、その瞬
間を大事に患者様やス
タッフと笑顔になれば
いいなとも思っています。
よろしく願います。

リレー・フォー・ライフに参加して

今回、リレー・フォー・ライフという、がん患者と患者を支える家族・遺族支援者をたたえ、地域社会全体でがん抑圧を目指す、チャリティイベントに参加させていただきました。



私たちは、緩和ケアについての相談役として2日間参加しました。患者さんからはホスピスにはどうしたら来られるかという相談があり、医療者からはどのように緩和ケアを行っていけばいいかという相談がありました。今回のイベントに参加したことで、緩和ケアを必要とする患者さんだけでなく、医療者も悩みながらケアしている現状を知る機会となりました。

これからも病院だけで緩和ケアを提供するだけでなく、地域社会に向けて活動が発信できるよう取り組んでいきたいと思ひます。

看護師 赤澤 昌代

ご家族から心温まるお手紙がきました

後藤征二さんとの関わりを通して

入院時から、受け持ちをさせていただき
ました。最初入院された時には、不安も
強く薬剤を使用されることが多かったの
ですが、関わっていくにつれて、趣味のジャ
ズやテニスのことなど、いつもニコニコと
穏やかに話をしてくださるようになりました。
それができたのは、私たちのケアだけ
でなく、奥さんが毎日面会に来て寄り添わ
れたことで、後藤さんが安心され、心穏や
かに過ごせたことが大きかったと思ひま
す。

奥さんは、手紙に『ホスピスで救われた
気がします。』と書いてくださっていま
したが、私たちも後藤さん、奥さん、娘さん
たちと関わらせていただく中で、元気を
いただいたり、言葉に癒されることがあ
りました。

後藤さんのケアを通して、ホスピスとは、
その人らしさを大切に過ごして頂く場所
であること、ここで終わりではなくここ
からみなではじめようという場所であ
ることを、改めて実感させていただきました。
この想いをまた、より良いホスピス看護
につなげていきたいと思ひました。

担当 看護師 竹内 智美



皆様、お褒めいただき、お元気にお仕事されている事に思ひます。
主人の入院中は、先生方もはじめ、全スタッフの方々の、手厚い
看護に、感謝の言葉い、ございります。
二年の闘病生活で、最後の半年、ホスピスでお世話に
なれて、本当に良かった。今、私も周りの人達に話している事。
日々、主人の心を、氷かゆい、落着け、暖か
見守ってくださる事... 親身に話をしてくださる事... 等々。
私自身も、ホスピスで救われた気がしります。
常にロヤカれ、うさ... 私にも、いや顔もせず、相手を
して下さり、本当に有り難い事。
11月2日に、故郷、徳島、お墓に、帰省して来られた。
征二さん少しは、落着けられたかな...?
それ、一段落です。
又、いつか、お話しさせて下さるね!!
寒さが増す、厳しく感じたり。
くれぐれも皆様、お体大切に!!
本当に有り難うございります。
後藤 恵美子